

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 27日

事業所名 eravuすみれ台

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	それぞれに適した環境で過ごせるよう配慮している。	
	2	職員の配置数は適切である	4	0	人員配置基準を満たしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	3	室内の階段には手すりをつけている。	階段や玄関に段差がある。車いすのお子さんは利用できない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0	毎朝全員が集まり、振り返りを行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	保護者面談についての意見をいただいたので定期的に行えるよう努力している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	HPで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	4	西児連で相互評価を実施業務改善に取り入れている。	その他の外部評価を行う予定はない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	毎週一回研修担当の職員が中心となって研修を行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	発達検査や視知覚検査の結果を踏まえて計画を立てている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	WISCやk式発達検査の結果、視知覚検査の結果を元にアセスメントをしている	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	毎週一回プログラム担当の職員が中心となって立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	運動、工作、実験、クッキングの項目の中からひとつずつ決めていく。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	0	土曜日には不定期でイベントを開催している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	学習、工作等は個別で、そのほかは集団で活動計画を立てている。個別に過ごすお子さんにも対応している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	事業所のリーダー中心に確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	次の日の午前中、療育前に共有している	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	次の日の午前中、療育前に共有している	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	0	半年に一度行っている。必要があれば適宜行っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	0	常にガイドラインに沿った活動を心掛けている。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	直接支援をしているスタッフが会議に出ることは難しい。日頃の活動や発達を聞き取りながら、児発管が主に出ている	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	0	各学校の先生とはお子さんの様子の確認も含めて頻繁に連絡を取っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	4	受け入れはない	受け入れる予定はない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	0	就学前の支援会議等に出席しているが、会議がない場合はこちらから問い合わせることはない	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	0	支援会議に出席したり、問い合わせがあれば報告している	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	西児連の研修を受けたり、こども未来センターの専門療育担当の方に助言を受けている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	0	特に必要性を感じていないが、公園では近所のお子さんと遊んでいる	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	0	西児連を通じて情報を得ている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	毎回ラインでお子さんの様子をお伝えしている。相談があればすぐに応じるようにしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	0	お子さんの特性に寄り添う話し方や環境設定等については随時お伝えしている。会を設けてはいない。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	契約時、計画作成時には伝えている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	保護者からの連絡を受け、電話や訪問で対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	0	年に1回程度。要望はあるので今後計画していきたい	保護者の方の連携は必要であれば検討していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	随時電話やラインで受付けている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	ラインワークスやインスタグラム、ホームページで発信している	
	35	個人情報に十分注意している	4	0	写真等に特に留意している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	視覚支援や個別連絡による配慮を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	4		必要であれば検討していく

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	2		マニュアルは策定し、職員には周知しているが、保護者への周知が不十分である。今後HPへの掲載を検討する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	2		2, 3か月に一度計画しているが、送迎等の変更で不定期に行った。今後は計画通りに進めたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	職員全員研修を受け、知識を身に付けている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	0		そのようなお子さんがいない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	年に1回保護者から聞き取って個人記録に記入し対応している。クッキングの際には、保護者に個別に聞き取っている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	事例集は作成していないが、職員間で共有している	